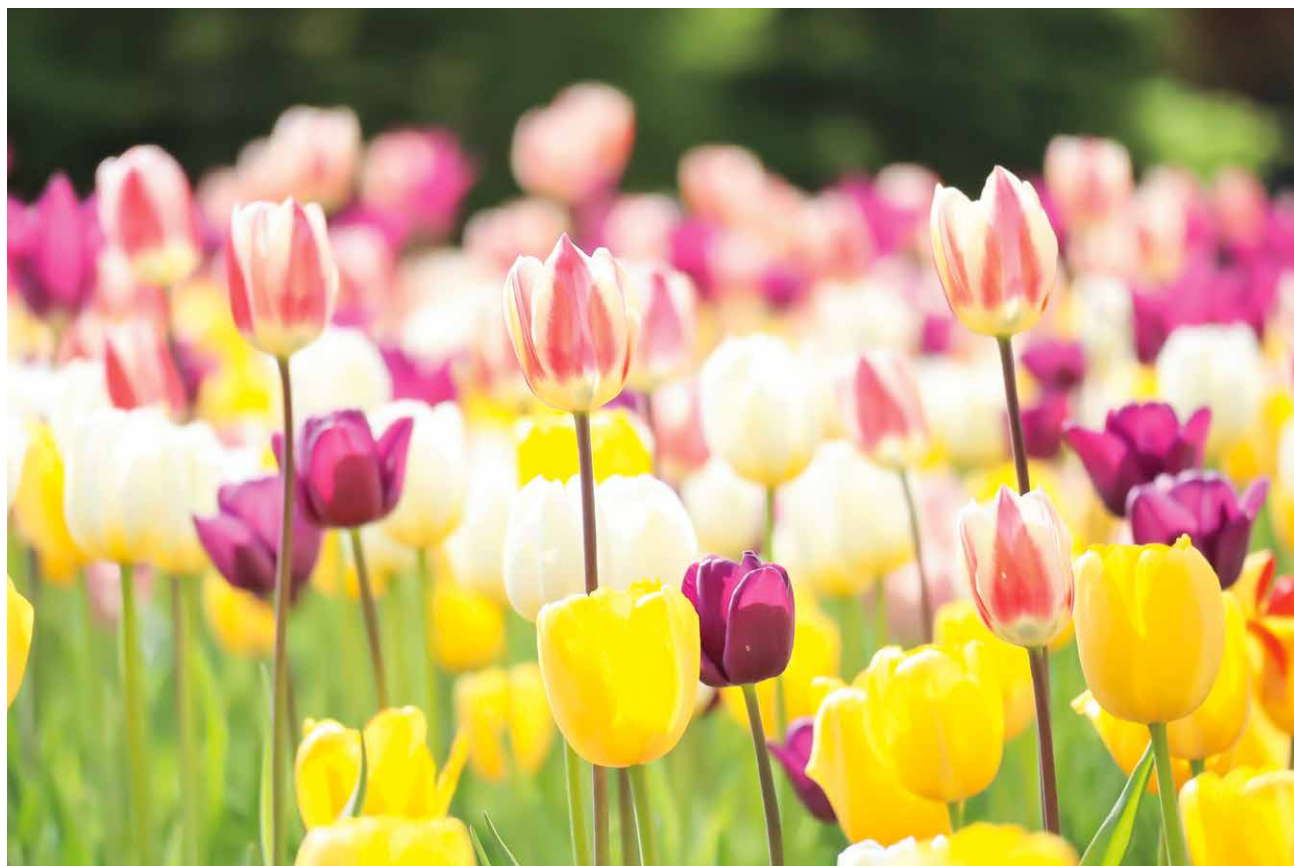


# PT

No. 79

# ながの NEWS

2022  
4  
April



## 目次

・ 巻頭言 研究推進部長 松本市立病院 中村 慶佑 .....	2
・ あしあと 令和3年度災害時リハビリテーションWebセミナー開催報告 .....	3
・ 信州メディボトネットのご紹介 .....	4
・ こども福祉部情報 .....	7
・ 学術の広場 .....	9
・ おすすめ!の一冊 「妻のトリセツ」 「できるセラピストと言われるために3年目までに知っておきたい15のこと」 .....	10
・ 北から南から 介護療養型老人保健施設 いずみの .....	11
・ 徒然なるままに 「最近買ったカメラの話」 .....	12
・ 賛助会員広告 .....	13



NEWS of  
the NAGANO PHYSICAL THERAPY  
ASSOCIATION

**PT** **ながの**  
**NEWS**

No. 79

## 巻頭言



研究推進部長  
松本市立病院 中村 慶佑

今年度から長野県理学療法士会で研究推進部が立ち上がり活動を開始致しました。研究推進部の活動内容は主に①理学療法研究の推進、支援に関すること、②多施設共同研究の企画、運営に関すること、③データベースの運用に関することです。

これまで理学療法は先輩方のご尽力により多大なる発展をしてきました。多くの臨床・学術活動により理学療法の普及や科学的基礎が築き上げられてきました。一方で、同じ疾患や障害を持つ患者さんが入院しても、施設間で評価や治療内容も統一されていないなどの課題があります。今年度から研究推進部が主体となり、長野県の病院で大腿骨近位部骨折術後患者に共通した評価を行い、施設間の比較や治療効果の把握を行うための「データベースプロジェクト」を開始することとなりました。理学療法士への社会的な期待が高まる中で、理学療法の治療効果のデータを持つことの意義が高まっています。今後も対象疾患を拡大し本プロジェクトを進めていきたいと考えています。プロジェクトへのご理解とご協力をお願いいたします。

最近ではコロナ感染やウクライナ危機など国内や世界情勢が不安定な中で将来の不安や生き苦しさを感ずることが多いと思います。このような世の中でも理学療法士として今何が出来るか、今と未来を見据えながら患者さんや県民の方々に少しでも幸せを感じていただけるような仕事をしていきたいと考えています。

私たちは50年の理学療法の歴史を継承し、発展させるために臨床・教育・研究を通し、理学療法の効果の検証や新たな可能性を追求していく必要があると考えています。社会的義務を果たすために今後も理学療法学の向上に尽力致します。

## 令和3年度災害時リハビリテーション Web セミナー開催報告

災害対策部  
相澤病院 谷内 耕平

令和4年1月22日に災害時リハビリテーション Web セミナーを開催いたしました。長野県理学療法士会災害対策部発足後、初のセミナー開催でした。

長野県理学療法士会主催ではありましたが、参加対象を理学療法士会員に限らず、OT士会・ST士会・看護協会・災害派遣福祉チーム（災福ネット）に広げ、当日は52名に参加いただきました。

本会は災害対策部発足後初のセミナーであり、災害に関する基礎的な内容を中心に2名の先生に講演いただきました。

第1部では長野県看護協会災害看護委員長の金子先生からは「災害時における医療提供体制」について、長野県の情勢や活動の実体験を通じて非常にわかりやすくお話いただきました。

第2部では長野県理学療法士会災害対策部部長の三浦より「東日本大震災・令和元年台風19号長野県豪雨災害時のリハセラピストによる支援活動」と称して、理学療法士としてのこれまでの活動実績を中心に講演いただきました。今後活動を希望する参加者にとっても理学療法士が行う災害時の実活動としてイメージが湧きやすい内容であったのではないかと思います。

長野県理学療法士会としては、今後も定期的に災害関連セミナーの開催や士会員への情報提供を行っていく予定ですので、よろしくお願いいたします。

1日から学べる **災害医療の基礎**  
 と  
**リハセラピストによる支援活動**

- 災害医療とは
- リハセラピスト・医療・介護従事者による活動とは
- 参加したことないけど、私でも活動できるの？

令和4年 **1月22日** 土 14時～16時

**第1部** 講師：金子秀夫  
 (相澤病院 防災災害救護総合センター 救急・救護・災害医療対策室 室長  
 長野県看護協会 災害看護委員会 委員長)  
**「災害時における医療提供体制について」**

**第2部** 講師：三浦一望  
 (松本協立病院 リハビリテーション科  
 長野県理学療法士会 災害対策部 部長)  
**「東日本大震災・令和元年台風19号長野県豪雨災害時のリハセラピストによる支援活動」**

**開催方式** ZOOMウェビナーを用いたWEBセミナー  
**参加対象** 職種関係なく誰でも参加可能  
**参加費** 無料  
**申し込み** 右記QRコードまたは <https://bit.ly/3CVg3Gz>  
 申し込み完了後、ミーティングID・パスワード等メールにてご連絡いたします

主催 長野県理学療法士会災害対策部

## 信州メディビトネットのご紹介

松本市医師会 小手川 直史

はじめまして。長野県医師会員の小手川直史と申します。このたびは投稿の機会をいただきましてありがとうございます。

診察室でいくら丁寧に説明しても「玉ねぎの皮を食べ始めた」など、マスコミやお友達情報に負けてしまうことも多く、新型コロナウイルスに関するデマを信じる人が多いのも、医療者以外の方は、『健康』について学ぶ機会がなく、共通の健康基礎知識がほとんどないため、仕方がないことです。

しかし、知らないまま病気が出来上がってから医療機関にようやくたどり着く人たちばかりで、病気で悩む人の数は減りません。

市民向けの健康普及活動を始めてみようとして、2014年に『信州メディビトネット』という任意団体を設立して活動を続けてまいりました。

### ○活動紹介

現在はコロナ禍で控えておりますが、以前は市民向けの講演会型の健康講座を年間に10回以上開催していました。体を動かすように理学療法士さんに来ていただいて健康体操を組み合わせたたり、臨床検査技師さんや看護師さん、医学生さんなどを交えたワークショップ型の講座も取り入れてきました。

信濃毎日新聞社中信地域版MGプレスに『健康の見つけ方』と題した市民向けの健康コラムを書かせていただいたり、ホームページも製作し、信州大学の各教室のご監修もいただいて、より県民の皆さまに信頼していただける内容に努めています。

### ○健康年齢ピック

そんな中から、参加して、体験してもらって、楽しんでもらえる新しい企画が生まれました。

肺年齢や骨年齢など、〇〇年齢が結果として表示される医療機器を集めて、合計平均健康年齢を実年齢と比較して、より若い人が健康上位、という参加型の健康イベントです。（※医学的エビデンスはありません）

松本市健康フェスティバルでも開催し大変好評でした。病院祭などでもすぐに開催できますので、ご興味をお持ちいただけましたら、資料や開催方法をご案内させていただきます。お気軽にご連絡ください。



健康年齢ピックの様子



## ○信州健康かるた配布プロジェクト

現在、信州メディビトネットでは、『子ども』×『健康』領域の健康啓発活動に力を入れています。

大人になってから、出来上がった生活習慣を変えることは大変困難です。次第に、もっと子どものころからの健康教育が大事なのかも…と考えるようになりました。

子どもたちが何度も繰り返して遊びながら、いつの間にか覚えられる仕掛けはないかと考えて『健康かるた』を作ろうと決めました。

「犬も歩けば棒に当たる」…子どもの頃に遊んだ“いろはかるた”を今でも覚えている！と思います。

子どものうちより早期から、健康知識を言葉遊びとともに自然と身につけて、健康という一生の宝の原石を手に入れてもらいたいという狙いです。

2019年に、長野県の元気づくり支援金をいただいて、一年間かけて中信地域の市民の皆さまの参加型で製作に取り組みました。

読み札となる標語は400句以上集まり、巡回人気投票で46音が決定。絵札はアーティストたちの指導のもと、子どもたちに描いてもらいました。



絵の制作ワークショップの様子

選定された標語には、県内19の医療団体が、分かりやすい解説を寄せてくださいました。A4サイズに大きく印刷、厚手のラミネートをして手作りの大判かるたが完成！

ゆうに1000人以上の方々が関わってくださって、唯一無二の『信州健康かるた』ができました。

2020年2月に松本市のゆめひろば庄内で初かるた大会を開催。60組以上のご家族に参加いただいて大盛況。繰り返して参加する子どもたちは、いつの間にか読み札を覚えて口ずさんでくれています！



かるた大会の様子

さあ、これから信州健康かるたを広めていこうと考えていたところ、コロナ禍発生！

二年間活動の歩みは止められたままとなっています。

そこで、卓上版信州健康かるたを印刷して、幼稚園や子ども食堂に無償配布することにしました。（今回は中信地域の一部市町村に範囲を限定しています）

この『信州健康かるた配布プロジェクト』には、阿部守一長野県知事や、タレントの松山三四六さんからも応援メッセージをお寄せいただきました。ぜひホームページをご覧ください。

受け入れ側の教育委員会の了承はいただくことができました。

あとは、印刷費です。現在、信州健康かるたの趣旨や意義をご理解いただいた個人・企業・医療機関様からご協賛やご寄付を募っています（返礼品あります）

資金集めの一環として、5月19日までCF 信州様 (<https://cf-shinshu.jp/>) で、クラウドファンディングにも取り組んでいます。

また、中信地域の病院、図書館、商業施設などで『信州健康かるた展』を開催中です。開催日時はホームページでご確認いただいて、近くにお寄りの際にはぜひご覧ください。

長野県理学療法士会のみなさまにも信州メディビットネットの存在と活動を知っていただき、ご支援をいただくことができると願っております。

皆さまのご支援を、信州の子どもたちに届けさせていただきます。



信州健康かるた配布プロジェクト  
ホームページ QR コードはこちら

## 信州メディビットネット

信州メディビットネット事務局

TEL & FAX : 0263-75-6815 (月水金 10時～15時)

E-mail : [hello@medibito.net](mailto:hello@medibito.net)

### ● 小児リハビリテーション相談室 ●

今年度は例年行っていた小児リハ施設見学研修会がCOVID-19の感染拡大により継続することが困難となりました。そのため県内で小児のリハビリテーションに関わっている方達の悩みや疑問に、こども福祉部のスタッフが答える相談室という場を設けさせて頂きました。

小児リハビリテーション相談室に寄せられた質問と回答をご紹介します。



Q1：訪問リハビリテーションで新規に小児利用者受け入れるに当たり、事前に受講しておいた方が良い研修があれば教えてください。

A：日本訪問リハビリテーション協会が主催している小児分野の研修会や、今ならオンラインで実施している小児の研修会がいくつかあると思いますが、何をどう知りたいかを明確に絞った方が的外れにならずに済むかと思います。発達の援助ばかりでなく、日常姿勢の評価（ポジショニング）、呼吸理学療法、福祉用具の検討、地域との橋渡し、ご家族が何を求めているか等いろいろあるかと思いますので、必要な情報の優先度を決めてから少しずつ必要な研修会に参加されてはいかがでしょうか。

Q2 訪問リハビリテーションで新規に小児利用者受け入れるに当たり、受け入れる前に元々リハビリを実施していた施設と連携を図りながら実施していきたいのですが、他施設ではどのように進めていますか？

A：紹介元の病院・施設でのリハビリテーションが継続されるか、されないかによっても役割が変わってきます。継続されるようでしたら、そのリハ担当者との連携を密に行える手段を確保し、役割など相談しつつ進められると良いかと思います。もし継続されないようでしたら、相談したいことがある場合や主治医と連絡をとりたい際に、紹介元の病院・施設のどこに連絡をとればよいかを確認し、その部署との連携手段を確保しておくが良いかと思います。

A：お母さんを介してノートでのやり取りと電話やリハビリテーション総合実施計画書を見せていただけるよう依頼し、連携をとっています。

Q3：訪問リハビリテーションで新規に小児利用者受け入れるに当たり、他施設ではどのようなことに悩まれてきましたか？

A：制度的な事と言えば、訪問看護ステーションから訪問するのか、訪問リハビリテーションセンターから訪問するので受診の頻度が変わります。おおよそ小児であれば医療保険での介入になると思われるので、訪問看護指示書であれば1～6ヶ月の指示期間があり、診療情報提供書（紹介状）では1ヶ月のみ指示期間が有効となります。そのため、定期的な受診が必要となりそれができると前提で訪問は開始されます。また、年齢によっては午睡や登校、注入等で訪問できる時間、曜日に制約がでます。見たことも聞いたこともない診断名の子を担当することもあると思いますので、その際には主治医との連携で有事の際の対応を明確にしておく必要があると思います。

ご質問いただきありがとうございました。

## ● ながの こども療育用具・福祉機器展（Web版） ●

今年度のWeb版福祉機器展ですが、11月1日よりホームページが公開となっています。県内外の多くの業者様にご協力頂きました。ぜひ、ご覧頂き、福祉機器の情報を得る一つのツールとしてご利用頂ければ幸いです。公開期間は来年の福祉機器展開催までとなります。

ホームページアドレス <https://hukushikikiten.wixsite.com/naganokodomo>



## ● こども福祉部 部員募集 ●

こども福祉部では新入部員を募集しています。

主な活動は「小児リハビリテーション研修会」、「こども療育用具・福祉機器展」、「小児リハ施設見学会」を企画し開催していくことです。小児リハに関する相談や情報共有もできます。

小児リハビリを行われている方、これから始めようとされている方、まずはお気軽にご連絡ください。よろしくお願いたします。

連絡先：pt@shinano-iryo.or.jp

（こども福祉部部长：信濃医療福祉センター 古松）





### ● 介護老人保健施設 御所苑 石坂 和貴

アメリカ合衆国初代大統領、ジョージ・ワシントンは一説では、血を抜かれすぎて死んだとされています。それは当時“瀉血（しゃけつ）”が医療として信じられていたからです。瀉血とは、皮膚に刃物を当てて血管を切開する奇妙な治療法で、何世紀ものあいだあらゆる病気を治す方法として一般的に行われてきました。“臨床試験”という検証方法の発見により、今日ではそれが間違った治療法であるということが証明されています。

科学的根拠にもとづく医療といわれはじめたのも、長い医療の歴史をみると最近のこのようです。医師たちは伝統や古い習慣を“科学”の力で、その治療効果を証明してきました。

日本における理学療法（士）の歴史において、日本理学療法士協会は、1990年日本学術会議により、学術研究団体として認定されています。これは日本の理学療法が科学として認められた瞬間であり、学術団体という側面を持つこととなります<sup>1)</sup>。

では、我々が普段行っている医療行為はいかがでしょうか。順天堂大学保健医療学部の高橋先生は現在の理学療法（運動療法）についてこう述べています。薬物療法、食事療法、運動療法は、医療の三位一体であることは言うまでもない。薬物療法：××薬 ○○mg ×△回/日、食事療法：主食量（g）、エネルギー（kcal）、たんぱく質（g）……と厳密に処方されているが、運動療法（理学療法）：「今日はこのくらいで……」というの、やはり医療の中で受け入れられなくなるであろう<sup>2)</sup>と。この「今日はこのくらいにしておきましょうか？」という言葉、皆さんよく使っていませんか？ 科学的な根拠をもって、丁寧に論理的に自分の行っている理学療法を説明できますか？

医療そして理学療法の発展と歴史、そして現在の臨床での課題を考えると、まだまだ示していかなければいけない課題が多くあるように思います。

長野県理学療法士会学術局研究推進部は、多施設間での治療成績の比較や質の高いエビデンスづくりを目的とした、データベースプロジェクトを企画しています。まずは大腿骨近位部骨折術後患者を対象として、運動機能やADLの治療成績を多施設間で比較することを計画しているようです。

そのような活動に対して、中には、この科学というアプローチが冷たく難しげで受け入れがたいと感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、科学が取り入れられる以前の世界を思い出してください。そしていつの日か必ず、その医療は自分たちが受けることになるのです。

我々、医療従事者は自ら学ぶ力、能動的学習を求められています。生涯学習していく中で、新しいアイデアには心を開くとともに懐疑的であろうと努める必要があります。そして、10年後、20年後に理学療法がどのような形になっているのか。そのために今、自分は何をしなければいけないのか。……日々考えさせられる毎日です。

#### 参考文献

サイモン・シン、エツァート・エルンスト、青木薫 訳：代替医療解剖。新潮文庫

#### 引用文献

- 1) 50年の歴史。日本理学療法士協会50周年記念サイト。URL：<http://50th.japanpt.or.jp/history/>。参照。2022年2月5日
- 2) 高橋哲也：運動療法時のリスク管理の要点—適切な運動療法によりアクシデントを防ぐ—。理学療法の歩み。32巻1号2021年1月

## おすすめ！の一冊

会員の皆様のおすすめの書籍を紹介させていただきます。



タイトル：『妻のトリセツ』

編 著：黒川 伊保子

出版社名：講談社

この本は、私が育休中に友人から紹介された本です。著者は、長野県生まれの脳科学・AI研究者です。この本では、男性と女性の脳の違いをわかりやすく解説し、夫婦間で起こりやすいコミュニケーションの行き違いがありありと表現されていました。結婚して10年と少しの私感じていた、日常のモヤッとしていたものがなにであったのか、この一冊のおかげで納得、スッキリしました。そして雑談がどことなく苦手な私は、ママ友や友人との接し方もよくわかりました。

異性とのコミュニケーションは、パートナーや家族、友人、職場、同僚など、一生続くものです。お互いの脳の違いによるコミュニケーションの取り方のパターンを理解しておく、余計なストレスを抱えることなくスムーズに過ごせることが増えると思います。

この本のシリーズには、「夫のトリセツ」「息子のトリセツ」「娘のトリセツ」などもあります。それぞれの立場での解説がまた面白く、ご興味のある方はぜひ手に取ってみてください。

長野赤十字病院 母袋 真理子



タイトル：『できるセラピストと言われるために 3年目までに知っておきたい 115のこと』

編 集：吉田 直紀・安藤 司

出版社名：学研プラス

題名の通り1年目の若手のセラピストにお勧めの一冊です。日々の診療で悩んでいる方や、数多くある分野の理学療法をこれからどうやって勉強すればいいかわからない方、何を極めていきたいのか迷っている方には、「最初に読む本」としてとても読みやすい内容になっているかと思います。また、若手の育成を担っている中堅の方でも、どう分かりやすく教えたら良いのか困っているのであれば、この本の内容は若手指導のヒントとしても活用できるかと思いま

す。本の内容としては疾患別リハビリの項目に加え、常務上に必要な知識とスキルに関する項目や、働き方・キャリアアップに関する項目もあり、各分野を広く網羅しています。自分が知らなかった分野や、既に知っていた分野に関して基礎的な知識を整理する事ができます。やや値段が張る印象の一冊ではありますが、上記に当てはまりそうな方は手に取って一読してみることをお勧めします。

鹿教湯病院 武重 快人

## ●鹿教湯三才山リハビリテーションセンター 介護療養型老人保健施設 いずみの



手塚 隼人

当施設は、上田市小泉に平成 22 年 4 月に 120 床で開設されました。いずみのは、県内でも珍しい介護療養型の老人保健施設であり、看護師が 24 時間配置されるなど医療的措置が必要とされる方も多く入所されています。入所リハ部門は、PT3 名、OT3 名、ST2 名が専従で配置されています。少ない人数ではありますが、看護・介護スタッフ、支援相談員など他職種との連携を大切にしながら個別リハビリのみでなく生活場面においても身体機能、能力の維持が図れるように働きかけています。また、介護保険における中間施設として、自宅環境やサービスの調整を行いながら在宅復帰の支援にも力を入れています。最近、コロナ禍の影響によりご家族や他事業所との連携が取りにくい状況が続いていますが、今できることを模索しながら、目標や希望をもって入所生活が送れるように支援しています。これからも、併設されている通所リハ部門（PT4 名、OT3 名）と連携をとりながら地域の方々のお役に立つよう努力を続けて参ります。

## 『最近買ったカメラの話』

鹿教湯病院  
宮下 慶子

就職してからもうすぐ3年目に入ります。学生時代と比較して、自分の生活は自分で行わなければなりません。仕事や自分の家のこと、それなりに忙しく、それなりに充実して生活しています。

最近の話ですが、以前より検討していたカメラを購入しました。私は旅行が好きで、そこに持っていきたいと考えていました。しかしコロナウイルスの影響により、旅行に行けていません。また以前担当していた患者様がカメラ好きであった事も有り、カメラの購入に至りました。

このカメラで撮影した1枚目は、夜の松本城です。インターネットにあった、夜景を撮るときのカメラの設定を行い、撮ってみました。夜景は難しいと言われます。始めて撮ってみた感想としては、光も写った綺麗な写真がとれたと思います。時々設定を変えてとるため写真一枚取っても、物語があるように感じられます。このカメラで様々な風景を撮影しながら、多くの経験を積んでいきたいです。

息抜きも以前と同じようにはいきません。自粛生活もいつまで続くのか、不透明な部分も多いです。今は準備の時期と考え、今後の生活をイメージしながら日々を過ごしていきたいと考えています。皆様も身体に気をつけてお過ごし下さい。





# 賛助会員広告

車イス・介護用品・福祉機器  
身体障害者用自動車運転装置

製作・販売・レンタル

*Mitsui* **マツイ商会(有)**



本 社 〒390-0827 松本市出川 2 丁目 19-6  
☎ (0263) 87-2255・FAX (0263) 25-5577

長野営業所 〒381-2204 長野市真島町真島 1286  
☎ (026) 285-6070・FAX (026) 285-6139

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

**CARE** 介護ショップ **サクラケア**

千 曲 店 /TEL(026)273-4115 佐 久 店 /TEL(0267)64-5115  
長 野 店 /TEL(026)223-4115 塩 尻 店 /TEL(0263)59-4115  
長 野 北 店 /TEL(026)252-4115 伊 那 店 /TEL(0265)77-4117  
長 野 南 店 /TEL(026)299-4115 松 本 店 /TEL(0263)78-6311  
上 田 店 /TEL(0268)21-4115 上 越 店 /TEL(025)531-0553  
中 野 店 /TEL(0269)24-6775

長野県内10店舗のネットワークで県内どこでも  
安心のサービスをお届けします。  
URL <http://www.sakura-care.co.jp/>

有限会社

**アルテックブレース**

愛知県一宮市猿海道 2-11-9  
〒 491-0838  
TEL 0586-23-6808  
FAX 0586-23-6818

赤外線カメラを用いた歩行分析システム

「平地」でも「トレッドミル」でも  
短時間で臨床向けレポートを出力



約1分間

マーカを自動認識！  
空間に入って歩くだけ

**キッセイコムテック株式会社** 公共・医療ソリューション事業部  
TEL :0263-40-1122 E-mail: [motion@comtec.kicnet.co.jp](mailto:motion@comtec.kicnet.co.jp)

長野県理学療法士会員の皆様の  
一生の安心をお手伝いしたい……

「生きる」を創る。

**Aflac**

アフラックサービスショップ (株) エヌアイ  
募集代理店

フリーダイヤル 0120-14-6465  
〒388-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

有限会社

**古瀬義肢製作所**

松本市沢村 2-2-30  
〒390-0877  
TEL 0263-33-4586  
FAX 0263-33-3066

# ウィールチェアー中部株式会社

(H22.8 社名変更しました)

〒407-0003

山梨県韮崎市藤井町北下条 1140-11

TEL 0551-23-4368

FAX 0551-23-4369

## 運動計測なら

おまかせください



ワイヤレスで動作解析

8チャンネル小型無線モーションレコーダ

マイクロストーン株式会社

〒385-0007 長野県佐久市新子田 1934

URL : <http://www.microstone.co.jp>

# 土屋メディカル株式会社

長野店

〒381-2246

長野市丹波島2丁目10-12

TEL 026-283-7070

もっとたくさんの笑顔のために

地元で介護のお手伝い

福祉用具のレンタル・販売・住宅リフォーム  
障害者福祉・健康用品・無添加ボディケア用品・介護食 etc

有限会社 ケーアンドケーメディカル



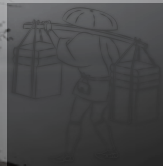
長野県佐久市白田 1935

TEL0267-82-0239 FAX0267-82-0026

URL : <http://www.kk-medical.co.jp>

三方よし。

「買手よし、売り手よし、世間よし」  
近江商人の理念をきた「三方よし」の原形は、  
中村長平翁が徳と徳と徳とを道徳とあるとされ、  
そこは「なまへ徳内参り地でも、  
この商内物、この国の人、一切の人々、  
心よく着申され候まうと、自分の事と思わず、  
皆人も様にも害されは、  
私たちが中日本メディカルは、  
この精神を現代に生かして、お客様私たちが、  
そして地域社会よりよくなるよう、  
医療機器の取扱いに努めてまいります。



Seiei Alles Sante  
**JML 中日本メディカルリンク株式会社**

- |   |   |   |
|---|---|---|
| ■ 本社 026-283-7070 長野市丹波島2丁目10-12<br>TEL:026338-0411 FAX:026338-0266     | ■ 長野事業所 026-283-7070 長野市丹波島2丁目10-12<br>TEL:026338-0411 FAX:026338-0266  | ■ 佐久事業所 026-283-7070 佐久市白田1935<br>TEL:026782-0239 FAX:026782-0026               |
| ■ 安曇野事業所 026-283-7070 安曇野市穂高2287-3<br>TEL:026371-5030 FAX:026371-5033   | ■ 伊豆事業所 026-283-7070 上野原市東長輪村田原505-3<br>TEL:026373-5291 FAX:026374-0096 | ■ 責任事業所 026-283-7070 松本市丸の内8-1<br>TEL:026338-0266 FAX:026338-0367               |
| ■ 商品管理センター 026-283-7070 安曇野市穂高2287-3<br>TEL:026371-2020 FAX:026371-2022 | ■ 伊那事業所 026-283-7070 鹿田市黒名古間2151 1-1<br>TEL:026365-1160 FAX:026365-1161 | ■ 介護用品事業所 026-283-7070 松本市丸の内8-1<br>(ヘルメックアテック) TEL:026332-4124 FAX:026332-6115 |

アフラックサービスショップ

株式会社 エヌアイ

「生きる」を創る。

**Aflac**

長野店 フリーダイヤル 0120-14-6465

〒381-8018 長野市篠ノ井西寺尾2436-1

上田店 フリーダイヤル 0120-65-4427

〒386-0002 上田市住吉287-5

# Kneemo<sup>®</sup>

ニーモ

デモ機  
あります

Kneemo は、早期離床・歩行の自立を目的として  
脳卒中後の片麻痺の方の歩行をサポートします。



屈曲サポート

伸展サポート

屈曲伸展サポート

ゴムチューブを動力源として、膝関節の屈曲・伸展をサポートする歩行補助機器です。  
強さの異なる4種の補助チューブは訓練経過に合わせて簡単に交換できます。

カタログ・動画はこちらから→



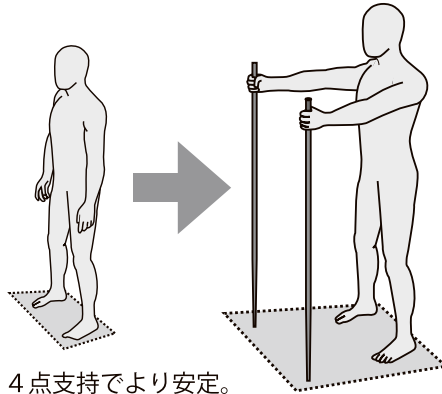
tel. (0568) 47-1701 (代)  
fax (0568) 47-1702  
info@pomgs.co.jp  
http://www.pomgs.co.jp

株式会社 **松本義肢製作所**  
しあわせをかたちにする人と技術の会社です  
本社：愛知県小牧市大字林 210 番地の 3  
(営業拠点：名古屋 / 静岡 / 長野)

新しいウォーキングスタイルの提案

## あんしん2本杖

4点支持により転倒を予防、  
これからの杖のカタチです。



4点支持でより安定。

あんしん2本杖 税込 ¥7,875 (2本1組)  
色：ブラウン、イエロー

お問合先

株式会社 **シナジ**

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1104-1  
TEL.0267-67-3321 FAX.0267-67-3326



**リハノメ** PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べる  
オンラインセミナーサービスです。臨床に悩むPT・OT・STのために、  
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

### 1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で…

# 980円

(税込)

お申込はこちら



理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院  
医療福祉学研究所 福祉支援工学分野 教授  
**石井 慎一郎 先生**

配信動画 基本動作の分析とバイオメカニクス  
など

## 豪華講師陣が ご登壇!

理学療法士 / さとう整形外科  
**赤羽根 良和 先生**

配信動画 若手療法士のための  
整形外科疾患の理解  
～肩関節周囲炎～ など

さらに  
**法人様  
向けプラン**

のご用意しております。  
資料請求などリハノメHP  
からお問い合わせください。

リハビリテーションを  
『かたち』にする会社

**gene**

お問い合わせは  
こちらまで  
お願いいたします

✉ seminar@gene-llc.jp

Tel.052-325-6611

リハノメ 検索



〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1丁目26-12 IKKO新栄ビル 6階

## 原稿掲載依頼

「PT ながの NEWS」へ原稿の掲載をご希望される方は、広報部までご連絡をお願い致します。  
メールアドレス：kouhou-pt@kakeyu-hp.com



発行 一般社団法人 長野県理学療法士会  
代表 佐藤博之（飯田市立病院介護老人保健施設ゆうゆう）  
編集 保高慎司（鹿教湯三才山リハビリテーションセンター）  
藤原印刷株式会社  
事務局 〒380-0836 長野県長野市南県町 685-2 長野県食糧会館 5F  
（一社）長野県理学療法士会 事務局  
TEL 026-234-3540 FAX 026-234-3550  
ホームページアドレス <https://ptnagano.or.jp>